

高速道路資産の長期保全及び更新のあり方に関する技術検討委員会
第10回 議事要旨

日時：令和7年 4月11日（金）10:00～12:00

場所：AP日本橋 会議室F

出席：

委員長 藤野 陽三 （城西大学 学長）
委員 太田 秀樹 （中央大学 研究開発機構 機構教授）
宮川 豊章 （京都大学 名誉教授）
西村 和夫 （東京都立大学 名誉教授）
秋葉 正一 （日本大学 生産工学部 教授）
田仲 博幸 （東日本高速道路（株）管理事業本部長）
中井 俊雄 （中日本高速道路（株）保全企画本部長）
永田 順宏 （西日本高速道路（株）保全サービス事業本部長）
オブザーバー 河村 英知 （（独）日本高速道路保有・債務返済機構 企画部長）

議事：

1. 委員会の規約について
2. 委員会での審議事項及び開催履歴
3. 適切な維持・管理（予防保全）の検討
4. 更新計画の継続した検討
（高速道路区域外からの土石流対策・鋼橋の腐食への対応）
5. 事業実施（先行特定更新等工事）の振り返りを踏まえた更なる対応

主な意見：

1. 「適切な維持・管理の検討（予防保全）」については、永続的に高速道路資産の健全性を保つために事後保全ではなく、予防保全へ移行することが重要であることを確認した。
2. 「高速道路区域外からの土石流対策」については、航空レーザー測量結果を踏まえた対策優先溪流の抽出方針を確認した。
3. 「鋼橋の腐食への対応」については、凍結防止剤の散布量の増大等の周辺環境の変化及び塗替塗装に関する技術基準の変遷から劣化要因・メカニズムを確認し、今後対策が必要となる構造物の選定を行っていくことを確認した。
4. 「事業実施（先行特定更新等工事）の振り返りを踏まえた更なる対応」については、社会的影響を最小化するため規制方法、広報、安全対策等の各種取り組んできたが、一方でそれらは事業費増とのトレードオフの関係になっており、今後事業を進める上での課題として、分析・整理していくことを確認した。

以上